

あなたがあなたらしく生きるために～「性的マイノリティ」と「LGBT」について～

性的マイノリティとは？

レズビアンやゲイなどの性的少数者を表す言葉です。代表的な性的マイノリティの頭文字をとって「LGBT※」と表現することもあります。

私たちは日常的に、男性・女性という二つの枠組みで色々な事を考えがちですが、実際の性・セクシュアリティはもっと複雑で多様です。性に関しては多くの考え方がありますが、「心、身体、恋愛対象」の三つの要素の組み合わせで考えることができます。

※レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー

○多様な性:「身体の性」「心の性」「恋愛対象」

レズビアン

	男	女
身体		○
心		○
恋愛対象		○

身体の性、心の性、恋愛対象の性も全て女性。(ゲイは全てが男性)

バイセクシュアル(例)

	男	女
身体		○
心		○
恋愛対象	○	○

身体の性と心の性は同じで、恋愛対象は男女両方。

トランスジェンダー(例)

	男	女
身体	○	
心		○
恋愛対象	○	○

身体と心の性が異なり、恋愛対象は異性の場合も同性の場合もある。

クエスチョニング(例)

	男	女
身体		○
心	←○→	
恋愛対象	←○→	

心の性や恋愛対象が揺れ動き、特定の枠にはまらない。

クエスチョニングのように、LGBTの枠に当てはまらない人々もいます。性は、私たちが思っている以上に多様で豊かなものなのです。

性的マイノリティはどれだけいるの？

調査対象や調査方法によって数値は異なりますが、人口の3～5%と推定する研究が多く発表されています。学校のクラスに1～2人いる計算です。

もしかしたらあなたの親しい人の中にもいて、一人で悩んでいるかもしれません。

どのような精神的負担があるの？

当事者は、「親を悲しませたくない」「異常だと思われないか」といった悩みをかかえ、ありのままの自分を隠し、周囲に合わせようとするケースが多くあります。

その結果、自己肯定感や自尊感情が低下し、自殺を考えるケースも少なくありません。

私たちにできること

社会には「おかま」「オネエ」「ホモ」といった言葉で同性愛者をからかったりする風潮があるため、性的マイノリティであることを打ち明けられない人も多くいます。悪気はなくても、軽はずみな言動で傷つく人がいるということを、心に留める必要があります。

また、性的マイノリティであるとカミングアウトされたことを勝手に言いふらす行為は、相手を傷つけ、裏切ることになります。もしカミングアウトを受けた場合は真剣に受け止めましょう。

参考：平成26年度法務省委託人権啓発ビデオ「あなたがあなたらしく生きるために」

多様な性に関するフォーラム

男女共同参画フォーラムを開催します。

日時：2月13日(土)

場所：中央公民館2階集会場

対象：関心のある方(申込不要・参加無料)

※託児希望の方は2月2日(火)までに申込

問合せ：市民協働推進課 平和・男女共同係 ☎893-4411 内線421  「お互いに 未来を掴もう 共同参画」

めがき☆ふくふく情報

学び、ふれあい、感じる実践の場

予約・問合せ
男女共同参画支援センター ぷくぷく

電話 896-1161
FAX 896-1219
宜野湾市志真志1丁目15番22号

※詳細は26ページ「情報掲示板」をご覧ください

講師：広木克行(神戸大学名誉教授)

「子どもたちが教えてくれたこと」
～学び合い 手をつなぐ子育てを～

★ふくふく共催講座
①2月27日(土) 午前10時～正午
(13時～相談会)

☆受講ご希望の方は事前にお申し込みください。
一時保育の申込み締め切り：2月5日(金)

受講料：無料

対象：関心のある方(市外の方も可能)

場所：男女共同参画支援センター 講堂

日時：2月17日(水) 午後7時～午後9時

講師：堀川 美智子(介護を考える女性の会 代表)

「私達が望む介護とは」
～介護を受けてよかった！を目指して～

テーマ

わが国は急速な高齢社会を迎え、現在、全国で545・7万人もの高齢者が介護を必要としています。～介護～は誰もがいざれ直面する、避けては通れない問題となっています。

今回は介護を受ける側の視点に立ち、高齢者の尊厳を支えるケアの充実のために何が 필요한のか、そして沖縄県における介護問題の現状について、ともに学び、すべての人がいきいきと生きる事ができる社会の実現について考えてみましょう。

★第9回ふくふく講座



皆様のご参加をお待ちしています。